

「ながれ」投稿規定 (2016年5月改訂)

- 「ながれ」は一般社団法人日本流体力学会の和文機関誌で、年6回発行される。内容は、流体力学及びその関連分野にかかわる報文で、(1)原著論文、(2)解説・総説、(3)特集・小特集、(4)研究ノート、(5)ながれマルチメディア(アブストラクトのみ)、(6)巻頭写真、(7)連載、(8)学術集会報告、(9)談話室・会員の声等の自由投稿欄、(10)新刊紹介等の情報欄、(11)会告などである。
- 投稿資格**：会員、非会員を問わない。
- 投稿方法**：原著論文、解説・総説、特集・小特集、研究ノートの原稿は、原則としてPDFによるデータ入稿にて受け付ける。上記の項目以外への投稿については、後に示す本規定8.執筆要領に従い作成のうえ、郵送にて受け付ける。
- 原稿の送付と受領**：原稿のPDFおよび「ながれ」投稿票のファイルを、「ながれ」編集委員会の投稿用アドレス `editors_jsfm@nagare.or.jp` に添付ファイルにて送付すること。データ入稿以外の場合は、A4判用紙に出力された原稿及び図表それぞれ3部(うち2部はコピーも可)に、「ながれ」投稿票1部を添えて、〒152-0011 東京都目黒区原町1丁目16番5号、一般社団法人日本流体力学会、「ながれ」編集委員長宛に郵送すること。上記E-mailアドレスまたは住所に原稿が届いた年月日をもって原稿受領日とする。なお、原稿及び図表は原則として返却しないので、著者は控えを手元に置くこと。特に返却を希望する場合には、宛先を記載し必要額の切手を貼った封筒を同封すること。
- 編集**：受領した原稿の編集は「ながれ」編集委員会が行う。編集委員会は内容の如何によっては著者に改訂を求めるか、受理しない場合がある。原稿の最終的な採否は編集委員会が決定する。
- 原稿の受理**：原著論文は他誌へ論文として未発表であるものに限る。所内報のような性格の出版物に投稿中または掲載済みの論文の場合は投稿時にその旨を明記し、その原稿の写しまたは別刷を添付すること。論文等は編集委員会が受理した日をもってその受理日とする。各欄の詳細については、本誌1号の投稿の手引きを参照のこと。
- 校正**：データ入稿による原稿についてはフォーマットを含め著者責任とする。データ入稿以外の場合については原則として初校校正は著者が、再校校正は編集委員会が行う。著者校正時の書き改めは原則として認めない。
- 執筆要領**
 - 原稿の体裁**：文章は原則として常用漢字、新仮名づかいにより、 unnecessary 外国語の使用は避ける。データ入稿による原稿については「ながれ」データ入稿用原稿執筆要項に従って執筆すること。原稿の長さは、原則として印刷頁で原著論文10頁、解説・総説8頁、特集・小特集20-50頁、研究ノート2-4頁を目安とする。完全データ入稿以外の原稿については、縦長A4判用紙に横書きで任意のフォーマットにて作成する。なお、印刷1頁は約2,400字に相当し、それぞれの原稿の長さは巻頭写真：写真1頁、説明文1頁、連載3-6頁、学術集会報告1-3頁、談話室・会員の声等の自由投稿欄1頁以下、新刊紹介等の情報欄1頁以下、会告など1頁以下を目安とする。
 - 表題と抄録**：データ入稿による原稿については「ながれ」データ入稿用原稿執筆要項を参照のこと。その他の原稿については、表題、所属、著者名、所属機関所在地、英文表題・英文所属機関名、ローマ字書き氏名およびE-mailアドレスに続き本文を執筆すること。
 - 数式**：データ入稿による原稿については「ながれ」データ入稿用原稿執筆要項を参照のこと。その他の原稿について、数式1行は原稿用紙2行を使って書くこと。表現はなるべく簡潔にし、添え字が複雑になることなどを避ける。例えば、指数関数は $\exp(\dots)$ とする方が良い。上付、下付、ギリシャ文字、イタリック、ゴシック等の区別とオーとゼロなどの紛らわしい文字の区別は赤で指定すること。
 - 図表**：データ入稿においては、十分な解像度(出力時の実サイズにおいて350 dpi程度以上)を持つ図表を電子的に貼り付けることを推奨する。どうしても貼り付けを必要とする図表については、原稿中に貼り付けるためのスペースを設け、別途郵送にて図表と貼り付け箇所の指示文書を送付すること。データ入稿以外の原稿については、図表はそのまま製版して使用する。著者名、図表番号、刷り上がりの図の横幅(8 cm, 17 cmのいずれか)を各図表の余白に指定し、挿入場所を本文に指定すること。
 - 引用文献**：文献を引用する際には、引用箇所に上付の引用番号を付ける。引用文献は、本文・付録の後に引用番号順にまとめる。書式については「ながれ」データ入稿用原稿執筆要項を参照のこと。
- 投稿料**：会員は無料、非会員は3万円とする。
- 別刷代**：原著論文、解説・総説の著者は別刷50部の代金を支払わなければならない。ただし、著者が学生の場合及び解説・総説が依頼原稿の場合は、希望する場合に別刷代を支払う。50部以上の別刷が必要な場合は、別途定めた料金を支払わなければならない(本誌1号投稿の手引き参照)。カラー印刷を希望する場合には、原則として要した費用を別途請求する。
- 著作権について**
 - 原稿の著作権**：本誌に掲載された論文の著作権(著作権財産権、Copyright)は日本流体力学会に帰属する。著作者自身の記事・論文から複製、翻訳、翻案などの形式で引用する場合、学会はこれに対して異議申し立てをすることはない。他誌などに掲載済みの図などを使用する場合には、著者の責任において転写許可を必ず取り、許諾書を原稿提出の際に学会に提出し、必要に応じて原稿本文中に転載の旨を記すこと。
 - インターネット等への公開について**：著作者本人がインターネット等で原稿を公開する場合、著作権譲渡後は「ながれ」ホームページ上ファイルへのリンクを公開すること。原稿の公開は不可とする。日本流体力学会誌「ながれ」掲載論文の著作権に関しての取扱いとインターネット等における公開について(<http://www.nagare.or.jp>)を参照のこと。